

第1日 1月27日(金) 1部 9時50分～11時30分

| | | | |
|-------|--|-------|-----------------------|
| 1 | とちぎふるさと学習部会 | 部会テーマ | “ふるさととちぎ”への愛情と誇りを涵養する |
| 内 容 | 社会教育施設等が行った出前授業等の具体例や、授業等に貸し出しできる資料等の紹介を中心に、“ふるさととちぎ”を楽しく学ぶ授業づくりのヒントを提供する。 | | |
| 部会担当者 | 興野 寛久(総合教育センター) | | |

※ 時刻はおよその目安です。予定時刻通りにならない場合もありますことを御了承願います。

実践発表①

地域と学校を「モノ」でつなぐ博物館

～博物館資料で授業をサポート～

9時55分～10時20分

県立博物館 馬籠 和哉
宇都宮市立宝木小学校 麦倉 智美

博物館の一番の強みは「モノ」である。当館では、昆虫・動物・植物・歴史・民俗・考古等、各分野に関する地元とちぎの資料をコレクションしている。多分野の学芸員のいる当館ならではの授業サポートの事例を紹介する。

実践発表②

文書館活用のすゝめ

～地域に残された史料から栃木の歴史を学ぶ～

10時25分～10時50分

県立文書館 飯塚 隆
県立宇都宮女子高等学校 岡 慎太郎

諸資料の活用から歴史の考察を深めていくことについて、学習指導要領においても重視されている。当館では、収蔵する本物の史料を活用することで、各学校における先生方より良い授業づくりの支援に力を入れている。本発表では、授業支援利用者の実践例とともに、実物の地域史料を紹介する。

実践発表③

埋蔵文化財センターと学校教育との連携

～「温故知新」発掘成果を教育的資産に～

10時55分～11時20分

(公財)とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター 亀田 幸久
宇都宮市立陽東小学校 伊藤 昌朋

埋蔵文化財センターでは、遺跡から発掘した貴重な文化財である土器や石器を、学校教育の場で活用する「出前授業」などの普及活動を行っている。実際に出前授業を行った先生のお話も交えながら、当センターと学校との連携の在り方について発表する。

紹介

11時25分～11時30分

ふるさととちぎに関する資料の一つである、「もっと学ぼう！栃木県」(県教委作成)のデジタルブックについて紹介する。